

議会報告会 実施報告書

実施日時	平成26年5月16日（金） 19:00～20:30			
会場	中郷公民館	来場者数	15人	
担当班	D	福谷正人、増田 敬、今大地晴美、田中和義、岡 武彦 木下 章		
		司会進行	福谷 正人	
		報 告 説 明	(意見) 増田 敬	(総務) 岡 武彦
			(産経) 田中和義	(文教) 木下 章
		パワーポイント	今大地晴美	
<p>1. 報告に関する質疑応答及び意見 特になし</p> <p>2. 意見交換で寄せられた意見及び質疑 (1) 観光のまちづくり～地域の魅力を教えてください～ 【意見】</p> <p>○疋壇城跡について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元有志で草刈り等をしている。 ・県からは保全のための予算を付けてもらっている。 ・深坂古道や玄蕃尾城からの観光客に場所が分からないと言われる。 ・高齢化が進む愛発地区で観光や地域活性の心の支えとなっている。 ・天守跡などは私有地になっているが、面積的にも小さいので市で買い上げて市で整備するなど出来ないか。 <p>○愛発の関および松原客館について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛発の関は疋田あたりにあったのではとされる山間の関所、また松原客館は渤海国使を迎接したとされる施設だが、双方とも場所は特定されていない。 ・しっかりと調べれば場所が特定できるという専門家もいる。これらの場所が特定できれば大きな観光資源として、観光客がたくさん来るはずなので、予算を付けて場所を特定して欲しい。 <p>○小刀根トンネル・疋壇城跡について</p>				

・場所がわかりにくいので、しっかりした大きな看板を付けてはどうか。

○敦賀港線について

・軌道自転車のような物を走らせて利用してはどうか。

○町家再生事業について

・場所がわかりにくいので、案内看板を付けてはどうか。
・その他、ムゼウムや敦賀港駅舎および赤レンガ倉庫についても同様に、観光客に場所がよく分かるような案内看板を設置すべき。

○疋田舟川資料館（旧疋田公民館）について

・旧疋田公民館は取り壊しの予定であるが、その中には舟川の資料展示等がある。その後公衆トイレ、東屋、舟川資料館を造ると聞いているが、資料館の内容について市からは地元任せという話だけで、何の相談も無い。地元にて全て任せられても、疋田地区の物ではなく市の施設なので市も誠意を持って予算や内容について提示等していただきたい。

○全般

・来ていただくための整備がまず必要。
・敦賀にどういった観光資源があるかをまとめ、それぞれの歴史的背景や言葉、現在どうなっているかなどを調査した上で、観光客にきていただくための整備をし、それから案内看板等の整備をする。
もちろん、予算もかかることであるが、このように順序立てて進めていくことが重要ではないか。

【質疑】

Q 1 : 町家再生事業は成果が上がっているのか。

A 1 : 3店舗とも集客は出来ている。

個人的な意見ではあるが、3店舗で終わりではなく今後どのように通りを整備していくかが重要であると思っている。

Q 2 : 向出山古墳について、以前整備されたが現在の状況は。

A 2 : 手元に資料もなく、現状も把握していないので、調べて何らかの形で報告する。

(2) 市議会、市政への意見及び回答

- ・オルパークへ一般の商店がチラシを置くのが有料であると聞いたが本当か。
→回答：指定管理者で自主事業として行っているかも知れないが、事実関係を把握していないので、確認し何らかの形でお知らせする。
- ・議会の傍聴をしてもらうことは大事だと思うが、どれくらい傍聴者がいるのか。また少なければ、来てもらうための対策などはどうしているか。
→回答：議会としても頭の痛いところである。傍聴者は正確な数字ではないが、各定例会で20人程度、年間80人程度だと思う。議会としても広報広聴委員会を作り、身近で開かれた議会を目指して努力しており、少しでも議会を知っていただき、興味を持ち、傍聴にも来てもらえるようになるように報告会も開催している。皆様も是非一度傍聴に来ていただきたい。今後とも、身近で開かれた議会を目指し努力を続けていく。

敦賀市議会議長 常岡大三郎 殿

平成26年 5月30日

敦賀市議会報告会実施要綱第10条第1項の規定により提出します。

代表者 福谷正人

※報告会当日に寄せられた質問のうち、後日回答させていただくとお答えした件について

Q 1. 敦賀駅交流施設オルパークにチラシ等を設置する際にお金がかかると聞いたが本当か。

A 1. 1週間あたり1,000円でリーフレット、パンフレット等を置くことができる。

Q 2. 向出山古墳について現在の状況はどうなっているか。

A 2. 昭和63年に中郷古墳群が史跡に指定されてから、定期的に草刈りを実施し保存に努めながら、毎年小学校の歴史授業における校外学習の場等として活用している。